

(18) トルコギキョウ

病害虫	防除法	参考事項																										
炭疽病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病株を抜き取る。 2 頭上かん水をしない。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病初期から、下記薬剤を散布する。 <table border="1" data-bbox="357 450 738 589"> <thead> <tr> <th colspan="2">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ジマンダイセン水和剤</td></tr> <tr><td>チオノックフロアブル/トレノックスフロアブル</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名		ジマンダイセン水和剤	チオノックフロアブル/トレノックスフロアブル	<ul style="list-style-type: none"> ○ 炭疽病菌の胞子は、雨滴やかん水の飛沫に乗って周辺に拡散する。 ○ ジマンダイセン水和剤は、葉の汚れが激しいので生育後期には使用しない。 																						
薬剤名																												
ジマンダイセン水和剤																												
チオノックフロアブル/トレノックスフロアブル																												
灰色かび病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設は換気を良くし、湿度を下げる。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発生初期から、下記薬剤を散布する。 <table border="1" data-bbox="357 763 1118 1256"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アフエットフロアブル</td><td></td></tr> <tr><td>ゲッター水和剤</td><td></td></tr> <tr><td>サンヨール</td><td>アブラムシ類、ハダニ類にも登録あり。</td></tr> <tr><td>セイビアーフロアブル20</td><td></td></tr> <tr><td>チオノックフロアブル/</td><td></td></tr> <tr><td>トレノックスフロアブル</td><td></td></tr> <tr><td>ピクシオDF</td><td></td></tr> <tr><td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td><td></td></tr> <tr><td>フルピカフロアブル</td><td></td></tr> <tr><td>ボトキラー水和剤</td><td></td></tr> <tr><td>ポリオキシシAL水溶剤</td><td>ハダニ類、アザミウマ類にも登録あり。</td></tr> <tr><td>ポリベリン水和剤</td><td></td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	アフエットフロアブル		ゲッター水和剤		サンヨール	アブラムシ類、ハダニ類にも登録あり。	セイビアーフロアブル20		チオノックフロアブル/		トレノックスフロアブル		ピクシオDF		ファンタジスタ顆粒水和剤		フルピカフロアブル		ボトキラー水和剤		ポリオキシシAL水溶剤	ハダニ類、アザミウマ類にも登録あり。	ポリベリン水和剤		
薬剤名	備考																											
アフエットフロアブル																												
ゲッター水和剤																												
サンヨール	アブラムシ類、ハダニ類にも登録あり。																											
セイビアーフロアブル20																												
チオノックフロアブル/																												
トレノックスフロアブル																												
ピクシオDF																												
ファンタジスタ顆粒水和剤																												
フルピカフロアブル																												
ボトキラー水和剤																												
ポリオキシシAL水溶剤	ハダニ類、アザミウマ類にも登録あり。																											
ポリベリン水和剤																												
斑点病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設内を換気する。 2 発病部位を取り除き、ほ場外へ持出し処分する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病初期から下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" data-bbox="357 1473 738 1821"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アミスター20フロアブル</td></tr> <tr><td>サプロール乳剤/セーフガード乳剤</td></tr> <tr><td>ダコニール1000</td></tr> <tr><td>トップジンM水和剤</td></tr> <tr><td>バレード20フロアブル</td></tr> <tr><td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ポリオキシシAL水溶剤</td></tr> <tr><td>メジャーフロアブル</td></tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 2 発病ほ場では栽培終了から残渣撤去までにキルパーを水で希釈し、土壌表面に散布又は灌水を行う。 農業登録情報 	薬剤名	アミスター20フロアブル	サプロール乳剤/セーフガード乳剤	ダコニール1000	トップジンM水和剤	バレード20フロアブル	ファンタジスタ顆粒水和剤	ポリオキシシAL水溶剤	メジャーフロアブル	<ul style="list-style-type: none"> ○ キルパーの処理方法詳細は、共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 																	
薬剤名																												
アミスター20フロアブル																												
サプロール乳剤/セーフガード乳剤																												
ダコニール1000																												
トップジンM水和剤																												
バレード20フロアブル																												
ファンタジスタ顆粒水和剤																												
ポリオキシシAL水溶剤																												
メジャーフロアブル																												
えそ病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連作を避ける。 2 排水を良くして過湿を避ける。 3 太陽熱や蒸気により土壌消毒をする (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 																											

病害虫	防除法	参考事項
えそ萎縮病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連作を避ける。 2 土壌還元消毒法などにより土壌消毒をする (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病原ウイルス(L i N S V)は媒介者を要しない物理的な接触伝染により土壌伝染する。 ○ クロルピクリンによる消毒効果はやや低い。
黄化えそ病(T S W V)、えそ斑紋病(I N S V)、えそ輪紋病(I Y S V)	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ウイルスの伝染源となるため、ほ場周辺に感染しやすい野菜や草花を植え付けない。 2 ほ場周辺の雑草はアザミウマ類の飛来源及びウイルスの伝染源となるため除草し、ほ場衛生に努める。 3 アザミウマ類は花粉を好みそれを餌として増殖するため、草花などをハウス内に持ち込まない。 4 発病株は直ちに抜き取り処分する。 5 媒介昆虫であるアザミウマ類の防除をする。 <p>(薬剤防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本項のアザミウマ類の防除に基づき防除を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アザミウマ類によって媒介される。
モザイク病(B B W V)、えそモザイク病(C M V)、輪紋病(W M V)	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 寒冷紗で覆いアブラムシの侵入を防ぐ。 2 ほ場周辺の除草をする。 3 発生株を直ちに抜き取る。 4 刃物によって汁液伝染するので注意する。 <p>(薬剤防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本項のアブラムシ類の防除に基づき防除を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アブラムシ類によって媒介される。

病害虫	防除法	参考事項																																																											
アザミウマ類	<p>・ 共通防除の章のアザミウマ類の防除の項を参照する。</p> <p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネットを展張する。育苗期の被覆も有効である。ほぼ完全に侵入を阻止するには、目合い0.4mm以下の防虫ネットが必要である。 ほ場周辺の雑草を除去する。 粘着テープにより成虫を誘殺する。本種は特に青色に誘引される。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 生物農薬 <table border="1" data-bbox="359 555 1117 779"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スワルスキー</td> <td>施設のみの登録</td> </tr> <tr> <td>スワルスキープラス</td> <td>施設のみの登録</td> </tr> <tr> <td>リモニカ</td> <td>施設のみの登録</td> </tr> <tr> <td>マイコタール</td> <td>施設のみの登録</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ミカンキイロアザミウマで登録</td> </tr> </tbody> </table> キルパーを用いた病害虫まん延防止 (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照) (農業登録情報) <table border="1" data-bbox="359 891 1117 992"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キルパー</td> <td>前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録</td> </tr> </tbody> </table> 自然くん煙 <table border="1" data-bbox="359 1037 1117 1115"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モスピランジェット</td> <td>ミカンキイロアザミウマで登録</td> </tr> </tbody> </table> 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" data-bbox="359 1160 1117 1933"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オルトラン粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オンコル粒剤5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダントツ粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オルトラン水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スミチオン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トクチオン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マブリック水和剤20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アクタラ顆粒水溶剤</td> <td>ミカンキイロアザミウマで登録</td> </tr> <tr> <td>ダントツ水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モスピラン顆粒水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アグリメック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アフファーム乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スピノエース顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディアナSC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スカウトフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カウンター乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジェイエース水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コテツフロアブル</td> <td>ミカンキイロアザミウマで登録。</td> </tr> <tr> <td>ハチハチフロアブル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 	薬剤名	備考	スワルスキー	施設のみの登録	スワルスキープラス	施設のみの登録	リモニカ	施設のみの登録	マイコタール	施設のみの登録		ミカンキイロアザミウマで登録	薬剤名	備考	キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録	薬剤名	備考	モスピランジェット	ミカンキイロアザミウマで登録	薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オンコル粒剤5		ダントツ粒剤		オルトラン水和剤		スミチオン乳剤		トクチオン乳剤		マブリック水和剤20		アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録	ダントツ水溶剤		モスピラン顆粒水溶剤		アグリメック		アフファーム乳剤		スピノエース顆粒水和剤		ディアナSC		スカウトフロアブル		カウンター乳剤		ジェイエース水和剤		コテツフロアブル	ミカンキイロアザミウマで登録。	ハチハチフロアブル	
薬剤名	備考																																																												
スワルスキー	施設のみの登録																																																												
スワルスキープラス	施設のみの登録																																																												
リモニカ	施設のみの登録																																																												
マイコタール	施設のみの登録																																																												
	ミカンキイロアザミウマで登録																																																												
薬剤名	備考																																																												
キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録																																																												
薬剤名	備考																																																												
モスピランジェット	ミカンキイロアザミウマで登録																																																												
薬剤名	備考																																																												
オルトラン粒剤																																																													
オンコル粒剤5																																																													
ダントツ粒剤																																																													
オルトラン水和剤																																																													
スミチオン乳剤																																																													
トクチオン乳剤																																																													
マブリック水和剤20																																																													
アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録																																																												
ダントツ水溶剤																																																													
モスピラン顆粒水溶剤																																																													
アグリメック																																																													
アフファーム乳剤																																																													
スピノエース顆粒水和剤																																																													
ディアナSC																																																													
スカウトフロアブル																																																													
カウンター乳剤																																																													
ジェイエース水和剤																																																													
コテツフロアブル	ミカンキイロアザミウマで登録。																																																												
ハチハチフロアブル																																																													

 ○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項 - 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、[農業安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」](#)を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 - アザミウマの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。 ○ くん煙剤の使用については、[共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方の項](#)を参照する。 |

病害虫	防除法	参考事項																																																				
アブラムシ類	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 気門封鎖剤 <table border="1" data-bbox="359 616 1117 739"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコピタ液剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ムシラップ</td> <td>発生初期</td> </tr> </tbody> </table> 自然くん煙 <table border="1" data-bbox="359 784 742 907"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マブリックジェット</td> </tr> <tr> <td>モスピランジェット</td> </tr> </tbody> </table> 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布又は処理する。 <table border="1" data-bbox="359 974 1117 1863"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>オルトラン粒剤</td><td></td></tr> <tr><td>オンコル粒剤 1</td><td></td></tr> <tr><td>アクタラ粒剤 5</td><td></td></tr> <tr><td>アドマイヤー 1 粒剤</td><td></td></tr> <tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr> <tr><td>ベストガード粒剤</td><td></td></tr> <tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td><td></td></tr> <tr><td>オルトラン水和剤</td><td></td></tr> <tr><td>マラソン乳剤</td><td></td></tr> <tr><td>アディオン乳剤</td><td></td></tr> <tr><td>アーデントフロアブル</td><td></td></tr> <tr><td>スカウトフロアブル</td><td></td></tr> <tr><td>ロディー乳剤</td><td></td></tr> <tr><td>ロビンフッド</td><td></td></tr> <tr><td>アドマイヤーフロアブル</td><td>トルコギキョウ開花期に薬害を生じる場合がある。</td></tr> <tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td></td></tr> <tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr> <tr><td>ベストガード水溶剤</td><td></td></tr> <tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td><td></td></tr> <tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td></td></tr> <tr><td>チェス顆粒水和剤</td><td></td></tr> </tbody> </table> 	薬剤名	備考	エコピタ液剤		ムシラップ	発生初期	薬剤名	マブリックジェット	モスピランジェット	薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オンコル粒剤 1		アクタラ粒剤 5		アドマイヤー 1 粒剤		ダントツ粒剤		ベストガード粒剤		スタークル/アルバリン粒剤		オルトラン水和剤		マラソン乳剤		アディオン乳剤		アーデントフロアブル		スカウトフロアブル		ロディー乳剤		ロビンフッド		アドマイヤーフロアブル	トルコギキョウ開花期に薬害を生じる場合がある。	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		ダントツ水溶剤		ベストガード水溶剤		モスピラン顆粒水溶剤		コルト顆粒水和剤		チェス顆粒水和剤	
薬剤名	備考																																																					
エコピタ液剤																																																						
ムシラップ	発生初期																																																					
薬剤名																																																						
マブリックジェット																																																						
モスピランジェット																																																						
薬剤名	備考																																																					
オルトラン粒剤																																																						
オンコル粒剤 1																																																						
アクタラ粒剤 5																																																						
アドマイヤー 1 粒剤																																																						
ダントツ粒剤																																																						
ベストガード粒剤																																																						
スタークル/アルバリン粒剤																																																						
オルトラン水和剤																																																						
マラソン乳剤																																																						
アディオン乳剤																																																						
アーデントフロアブル																																																						
スカウトフロアブル																																																						
ロディー乳剤																																																						
ロビンフッド																																																						
アドマイヤーフロアブル	トルコギキョウ開花期に薬害を生じる場合がある。																																																					
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																																						
ダントツ水溶剤																																																						
ベストガード水溶剤																																																						
モスピラン顆粒水溶剤																																																						
コルト顆粒水和剤																																																						
チェス顆粒水和剤																																																						

 ○ くん煙剤の使用については、[共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法の項](#)を参照する。 |

病害虫	防除法	参考事項																																
シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ	<p>・共通防除の章のシロイチモジヨトウの防除の項及びハスモンヨトウの防除の項を参照する。</p> <p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> シロイチモジヨトウ成虫は長距離移動する場合があるため、周辺の発生ほ場からの飛来も十分考えられる。したがって、施設などでは防虫網を設置し、成虫の侵入を防止する。 交信かく乱剤(下表)を活用した防除を行う。 早期発見に努め、卵塊や分散前の若齢幼虫を捕殺する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> シロイチモジヨトウは薬剤抵抗性が発達しており有効薬剤は非常に少なく、また幼虫は2齢になると、ねぎなどでは葉に穴を空け葉内に潜り込んで食害するため、薬剤散布を実施する場合も散布適期が非常に短い。そのため、ほ場での発生をよく観察し、幼虫のふ化に合わせて薬剤散布を実施しなければならない。 交信かく乱剤 <table border="1" data-bbox="359 739 1117 896"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヨトウコンーS</td> <td>シロイチモジヨトウで登録</td> </tr> <tr> <td>ヨトウコンーH</td> <td>ハスモンヨトウで登録</td> </tr> <tr> <td>コンフューザーV</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 若齢幼虫期のうちに、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" data-bbox="359 940 1117 1433"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オルトラン粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オルトラン水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アディオン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フェニックス顆粒水和剤</td> <td>ハスモンヨトウで登録</td> </tr> <tr> <td>ヨーバルフロアブル</td> <td>ハスモンヨトウで登録</td> </tr> <tr> <td>アフファーム乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノーモルト乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マッチ乳剤</td> <td>ハスモンヨトウで登録</td> </tr> <tr> <td>ロムダンフロアブル</td> <td>シロイチモジヨトウで登録 ハスモンヨトウで登録</td> </tr> <tr> <td>コテツフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブレオフロアブル</td> <td>ハスモンヨトウで登録</td> </tr> </tbody> </table> 	薬剤名	備考	ヨトウコンーS	シロイチモジヨトウで登録	ヨトウコンーH	ハスモンヨトウで登録	コンフューザーV		薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オルトラン水和剤		アディオン乳剤		フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨトウで登録	ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウで登録	アフファーム乳剤		ノーモルト乳剤		マッチ乳剤	ハスモンヨトウで登録	ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録 ハスモンヨトウで登録	コテツフロアブル		ブレオフロアブル	ハスモンヨトウで登録	
薬剤名	備考																																	
ヨトウコンーS	シロイチモジヨトウで登録																																	
ヨトウコンーH	ハスモンヨトウで登録																																	
コンフューザーV																																		
薬剤名	備考																																	
オルトラン粒剤																																		
オルトラン水和剤																																		
アディオン乳剤																																		
フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨトウで登録																																	
ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウで登録																																	
アフファーム乳剤																																		
ノーモルト乳剤																																		
マッチ乳剤	ハスモンヨトウで登録																																	
ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録 ハスモンヨトウで登録																																	
コテツフロアブル																																		
ブレオフロアブル	ハスモンヨトウで登録																																	

病害虫	防除法	参考事項																																		
ハダニ類	(薬剤防除) 農業登録情報	○ くん煙剤の使用については、 共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法の項 を参照する。																																		
	1 気門封鎖剤																																			
	<table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th style="width:50%">薬剤名</th> <th style="width:50%">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコピタ液剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サフオイル乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サンクリスタル乳剤</td> <td>花卉、苞、葉に葉害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、T P N (ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。</td> </tr> <tr> <td>粘着くん液剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ムシラップ</td> <td>発生初期</td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名	備考	エコピタ液剤		サフオイル乳剤		サンクリスタル乳剤	花卉、苞、葉に葉害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、T P N (ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。	粘着くん液剤		ムシラップ	発生初期																						
	薬剤名		備考																																	
	エコピタ液剤																																			
	サフオイル乳剤																																			
	サンクリスタル乳剤		花卉、苞、葉に葉害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、T P N (ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。																																	
	粘着くん液剤																																			
	ムシラップ		発生初期																																	
	2 自然くん煙																																			
	<table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th style="width:50%">薬剤名</th> <th style="width:50%">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テルスタージェット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名	備考	テルスタージェット																															
	薬剤名		備考																																	
	テルスタージェット																																			
	3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。																																			
	<table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th style="width:50%">薬剤名</th> <th style="width:50%">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トクチオン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マラソン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロディー乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アグリメック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カネマイトフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダニオーテフロアブル</td> <td>銅剤、及び銅を含む製剤との混用不可、近接注意</td> </tr> <tr> <td>ダニコングフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダニサラバフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダブルフェースフロアブル</td> <td>花に葉害を生じる場合がある。</td> </tr> <tr> <td>テデオンの乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テデオンの水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ニッソラン水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パロックフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピラニカEW</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ペンタック水和剤</td> <td>施設栽培で登録。開花期に葉害を生じる場合がある。</td> </tr> <tr> <td>コテツフロアブル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名	備考	トクチオン乳剤		マラソン乳剤		ロディー乳剤		アグリメック		カネマイトフロアブル		ダニオーテフロアブル	銅剤、及び銅を含む製剤との混用不可、近接注意	ダニコングフロアブル		ダニサラバフロアブル		ダブルフェースフロアブル	花に葉害を生じる場合がある。	テデオンの乳剤		テデオンの水和剤		ニッソラン水和剤		パロックフロアブル		ピラニカEW		ペンタック水和剤	施設栽培で登録。開花期に葉害を生じる場合がある。	コテツフロアブル	
	薬剤名		備考																																	
	トクチオン乳剤																																			
	マラソン乳剤																																			
	ロディー乳剤																																			
	アグリメック																																			
	カネマイトフロアブル																																			
	ダニオーテフロアブル		銅剤、及び銅を含む製剤との混用不可、近接注意																																	
	ダニコングフロアブル																																			
	ダニサラバフロアブル																																			
ダブルフェースフロアブル	花に葉害を生じる場合がある。																																			
テデオンの乳剤																																				
テデオンの水和剤																																				
ニッソラン水和剤																																				
パロックフロアブル																																				
ピラニカEW																																				
ペンタック水和剤	施設栽培で登録。開花期に葉害を生じる場合がある。																																			
コテツフロアブル																																				

病害虫	防除法	参考事項																								
タバココナジラミ	<p>・ 共通防除の章のコナジラミの防除の項を参照する。</p> <p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 特にタバココナジラミは薬剤抵抗性が発達しているため、以下に挙げる予防策を基本とした総合防除を行う。 寄生範囲が広いこと、ほ場内外の雑草防除などほ場衛生に努める。 施設では成虫の侵入防止を徹底する。0.4mm 目以下の防虫ネット、紫外線カットフィルム、反射資材等の利用が有効である。 夏期には露地においても発生が多くなるため、秋期より栽培(定植)の始まる作型では、施設内への成虫の侵入防止対策が特に重要である。 育苗期の防除に努め、コナジラミ類が寄生していない苗を定植する。鉢物など、栽培に関係のない植物は、施設内に持ち込まない。 連作する場合には、作と作の間に施設内に植物が存在しない期間を設け、コナジラミ類がリレーされることを避ける。 施設での発生予防のために黄色粘着テープを使用する場合は、侵入防止を徹底したうえで、施設の出入口や側窓付近に張り、定期的に交換する。 作物上に寄生したコナジラミの施設外への逃亡・拡散を防止するため、収穫後の残さは、キルパーの処理(下表)や施設の密閉(蒸し込み)により、枯死、乾燥させた上で処分する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 早期発見、早期防除に重点を置く。薬剤効果に差があるので、両種の区別を的確に行う。薬剤散布を行うに当たっては、葉裏に寄生している幼虫、蛹にも必ず薬剤がかかるよう丁寧に十分な量を散布する。さらに、薬剤が株全体によく到達するように下葉の処分を早期に行うなど工夫する。 <table border="1" data-bbox="359 1086 1117 1377"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコピタ液剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キルパー</td> <td>前作の野菜類又は花き類・観葉植物類の古株枯死で登録</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" data-bbox="359 1422 1117 1794"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタークル/アルバリン粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カルホス乳剤</td> <td>オンシツコナジラミで登録 若齢幼虫で登録</td> </tr> <tr> <td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベストガード水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディアナSC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラノーテープ</td> <td>施設栽培で登録</td> </tr> <tr> <td>コルト顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>チェス顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	エコピタ液剤		キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物類の古株枯死で登録	薬剤名	備考	スタークル/アルバリン粒剤		カルホス乳剤	オンシツコナジラミで登録 若齢幼虫で登録	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		ベストガード水溶剤		ディアナSC		ラノーテープ	施設栽培で登録	コルト顆粒水和剤		チェス顆粒水和剤		<p>○ TYLCVを媒介する。</p>
薬剤名	備考																									
エコピタ液剤																										
キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物類の古株枯死で登録																									
薬剤名	備考																									
スタークル/アルバリン粒剤																										
カルホス乳剤	オンシツコナジラミで登録 若齢幼虫で登録																									
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																										
ベストガード水溶剤																										
ディアナSC																										
ラノーテープ	施設栽培で登録																									
コルト顆粒水和剤																										
チェス顆粒水和剤																										